

授業科目	栄養科学特論 Advanced Food and Nutritional Sciences			担当教員	古賀 貴子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
食品は、栄養機能(一次機能)、味や香り、物理的性質などの感覚刺激機能(二次機能)、生体調節機能(三次機能)をもつことが知られている。「健康と栄養と食」の関わりを理解するために、生活習慣病の発症や予防改善、食品利用等に関する高度の専門知識を学修する。そこで、本特論では生体調節機能にかかわる食品や食品成分について、その効果および作用機序などを学修する。また、摂食・嚥下について学び、食べる行為と身体機能の関連性、健康づくりについて理解する。							
	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
関心・意欲 ・態度	科学論文を読解できる。 関連テーマについてディスカッションできる。				プレゼンテーション 授業態度・授業への参加度	10% 10%	
思考・判断	テーマを設定し、結果を考察することができる。 (課題発見、問題提起、結果考察、課題解決)				プレゼンテーション 授業態度・授業への参加度	10% 10%	
技能・表現	自分の考えをまとめ、分かりやすく発表、プレゼンテーションできる。				プレゼンテーション	10%	
知識・理解	EBN(Evidence Based Nutrition)に基づいて、研究情報を収集し、科学的に理解して説明できる。				レポート プレゼンテーション	30% 20%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
課題発表やレポートの内容、ディスカッションの取り組み等で総合的に行う。 プレゼンテーションは、各自でテーマを決定し、各自1回以上発表およびディスカッションを行う(授業時に指示)。 レポートは、プレゼンテーションした内容についてレポートにまとめ授業終了時後、速やかに提出する。提出したレポートにはコメント等を記入し返却しフィードバックする。							
授業の概要							
講義形式および各自で選択した食品の機能性に関するテーマ及び摂食・嚥下に関するテーマについて発表し、ディスカッションを行う。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。随時、資料を配布する。 参考書：適宜紹介する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
本特論ではこれまで学んできた基礎知識を基にして更に知識を身につけるよう学修に励むこと。 プレゼンテーションとディスカッションを行うので発表内容について学修し準備しておくこと。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	栄養科学特論の概要説明、および食品の三次機能について	機能性食品についての基礎知識を復習する。 プレゼンテーションの資料を準備する。
2	食品機能論 1	食品の三次機能と機能成分について、特定保健用食品について	機能性食品について復習する。 プレゼンテーションの資料を準備する。
3	食品機能論 2	食品の三次機能と機能成分について、機能性表示食品について	機能性食品について復習する。 プレゼンテーションの資料を準備する。
4	食品機能論 3	食品の三次機能と機能成分について、栄養機能食品について	機能性食品について復習する。 プレゼンテーションの資料を準備する。
5	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
6	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
7	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
8	食品機能論 4	食品の二次機能について 摂食・嚥下、食品の物理的性質（物性） テクスチャー	摂食・嚥下、食品のテクスチャーについて復習する。 プレゼンテーションの資料を準備する。
9	食品機能論 5	食品の二次機能について 摂食・嚥下、食品の物理的性質（物性） 流動特性	摂食・嚥下、食品の流動特性について復習する。 プレゼンテーションの資料を準備する。
10	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
11	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
12	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
13	課題発表	プレゼンテーションおよびディスカッション	各自課題発表ができるように準備をしておく。 プレゼン内容について復習、答えられなかった質疑については再度調べておく。
14	小論文 1	まとめ(レポート)作成 1	各自発表した内容についてレポートを作成する。
15	小論文 2	まとめ(レポート)作成 2	各自発表した内容についてレポートを作成する。